

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあつては名称) 東和薬品株式会社		住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒 571-8580 大阪府門真市新橋町2番11号	
本票作成	部署名：管理本部総務部総務課				
主たる業種	分類コード	16	業種名：化学工業		
事業の概要	医療用医薬品(ジェネリック医薬品)の製造・販売(固形剤、注射剤) 従業員：3, 314名 (2021年4月1日)				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	岡山工場		勝田郡勝央町太平台34番2号	
	②	西日本物流センター		勝田郡勝央町太平台84番	
	③	岡山営業所		岡山市南区新保1152-1	
	④	東和ほほえみ保育園岡山		勝田郡勝央町太平台65番	
	⑤	西日本メガソーラー		勝田郡勝央町太平台84番	
⑥	岡山工場 第二・第三駐車場		勝田郡勝央町太平台71番		
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1, 500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3, 000t以上 (●工場等の数 6 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 30 年度)	(令和 2)年度排出量	目標年度(令和 5 年度)
	16, 329 t CO ₂	14, 826 t CO ₂	18, 987 t CO ₂
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和 2)年度排出量
	①	岡山工場	14, 421 t CO ₂
	②	西日本物流センター	322 t CO ₂
	③	岡山営業所	42 t CO ₂
	④	東和ほほえみ保育園岡山	21 t CO ₂
	⑤	西日本メガソーラー	13 t CO ₂
⑥	岡山工場 第二・第三駐車場	7 t CO ₂	

削減目標の達成状況	計画期間：	令和 1 年度	～	令和 5 年度	(5 箇年度)
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(2)年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	3.9 %	5.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	<input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 原料使用量(t)	原単位当たり排出量		
		基準年度	(2)年度	目標年度
		11. 739 t CO ₂ /(t)	11. 283 t CO ₂ /(t)	11. 150 t CO ₂ /(t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和 2 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

ジェネリック医薬品の安定供給という使命のもと、生産量増加や付加価値・品質向上に伴い、温室効果ガスの総排出量を抑えるのは容易でない。
 しかし、企業として社会的責任を果たすように温室効果ガスの削減(省エネ法と合わせてエネルギー消費原単位を前年度に比べて改善、5年度間平均原単位で年1%以上の削減)を目標とし設備投資など計画的に取り組む。2021年度は当社岡山工場が提案していた、勝央中核工業団地全体の燃料転換計画(A重油→LNG)が実施されるため周辺企業を含めたCO₂削減に大きく貢献できると考えている。

【推進体制】

- ・本社で開催される環境分科会（全社共通）と連携した管理体制を整備している。
- ・岡山工場では工場長を総括環境管理者とする環境省エネ委員会（隔月）で開催し、環境負荷の低減に取り組んでいる。
- ・会議を開催しない月においても、活動状況の報告、集計、資料提供などの情報共有を実施している。
- ・省エネパトロールを実施し、参加メンバーの省エネに関する意識向上に努めている。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
岡山工場	<p>(2020年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空調や照明、OA機器など運用見直しによるエネルギー使用量削減 ・老朽化した変圧器の更新（CO2削減量18t/年） ・老朽化したエアコン、LEDの更新（CO2削減量54t/年） <p>(今後実施予定分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改修工事（更新）の際にはインバーター化や高効率設備（コンプレッサ、LED、変圧器）など、環境や省エネを配慮した設備・構造を導入（検討）。 ・エネルギー消費設備の使用方法見直しなどソフト面でも引き続き省エネを推進していく。 ・燃料転換（A重油→LNG）及びボイラー更新（CO2削減量1,400t/年） ・老朽化した照明のLED化（CO2削減量12t/年）

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

東和薬品として全社的な取組み事項

- 経団連が取組む低炭素社会実行計画へ参加。
目標【2005年度比、2020年度のCO2排出量を売上高原単位で23%削減】
- 自主的に夏冬の節電に取り組んでいる。
(各事業所で節電行動計画の策定)
- 環境省が実施している「COOL CHOICE」に参加。

さらに、東和薬品として「fun to share」に賛同登録を実施し、活動を進めている。
東和薬品独自の取り組みとして「東和薬品ライトダウンキャンペーン2020」に参加した。